

(様式)

令和4年度 狹山市立富士見小学校学校関係者評価表

※評価資料：保護者による学校運営に関するアンケート（12月web回答にて実施）

※【保護者評価の目安】

- A：十分に達成されている
- B：概ね達成されている
- C：どちらかというところと不十分である
- D：不十分である
- E：わからない

A～Eのうち1番多かった保護者評価を明記

評価の分析説明

領域	番号	評価項目	保護者アンケート結果からの考察		学校関係者評価委員から 評価(文章表記)
			評価	説明	
学校運営全般	1	教職員は、学校経営方針の具現化を図るために積極的に取り組んでいる。	B	○89.0%が積極的に取り組んでいると回答。めざす学校像は「笑顔があふれ何事にも本気で取り組む学校」であった。全職員が「笑顔」と「本気」を合言葉に児童の育成にあたった。 ○86.6%の児童が「学校が楽しい」と感じていた。残り約13%の児童へ引き続き支援を講じていく。	○めざす学校像が明確で、「笑顔」と「本気」を合言葉に児童の育成にあたっていることは評価に値します。なお、学校が楽しいと感じていない13%の児童の支援を、学校としては原因を明確にして、その対策をシステム化することが肝要と史料いたします。 ○5の施設・設備は教職員の努力だけではカバーできない部分もあるので、78.4%は仕方ないと思いますが、他の1～4について、これだけ評価されているのは素晴らしいと思います。 ○下校時、友達との会話が弾んで笑顔あふれる姿を見ると、学校が楽しかったことがうかがえます。 ○以前懸念していましたトイレが修繕されており、ほっといたしました。 ○生き物の飼育が年々なくなっていく現状を残念に思っています。
	2	児童は、「学校が楽しい」と言っている。	A	○91.6%が熱心であると回答。児童一人一人へのきめ細かい指導が行き届いていた。学力・学習状況調査の結果も、平均がそれ以上であった。授業づくりに熱心な職員が多い。	
	3	教職員は、担当する学級の経営や教科等の指導に熱心に取り組んでいる。	A	○84.9%が「様々な相談に対して、適切に対応している」と回答。担任だけではなく、他の職員やカウンセラー、スクールソーシャルワーカーも親身に相談にあたった。	
	4	学校は、保護者からの様々な相談に対して、適切に対応している。	B	○78.4%が安全に管理されていると回答。校舎内外の破損箇所や危険箇所の修繕など、安全管理は積極的にに行った。大きな事故は皆無であった。課題は和式の多い高学年トイレへの老朽化の意見が多かった。PTAの協力を得てトイレ清掃を行った。	
	5	学校の施設・設備は安全に管理されている。	B		
学力向上	6	学校は、児童が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。	B	○87.6%が「児童が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している」と回答。職員研修により、授業力の向上を図ってきた。	○学校は、熱意を持って学力向上に向けた対応をしていると思います。学力や意欲にバラツキのある児童集団を、1人の先生が授業をして指導するには限界があると思われます。 ○数字を見る限り、教職員は相当努力されていることがわかりました。 ○高学年、低学年のそれぞれが互いの立場で、育成されていることを実感いたします。
	7	学校は、「読む・書く」「計算」等の基礎学力を確実に身につけるよう指導している。	B	○90.6%が基礎学力が身につけていると回答。朝の算数タイムや朝学習で習熟を図ってきた。長期休業中もプリント学習に取り組んできた。	
	8	教職員は、授業を通して、児童の思考力・判断力・表現力を育てている。	B	○89.3%が思考力・判断力・表現力が育っていると回答。主体的で対話的な深い学びへの授業を通して、考える力が育ってきている。	
	9	学校は、児童に家庭学習の習慣が身につくように指導している。	B	○84.3%が家庭学習の習慣を身につけていると回答。本校ではおおよそ学年×10分以上の家庭学習を毎日課してきた。	
規律ある態度	10	学校は、児童に進んであいさつができるよう指導している。	B	○88.7%が進んであいさつができるよう指導していると回答。地域へのあいさつという点では課題がある。	○守るべき規律は、十分に指導できていると思います。「元氣にあいさつをする」は、児童にバラツキが感じられ、継続してご指導のほどお願いいたします。 ○校内で会う子供たちはとてもきちんとあいさつができています。登校時は・・・？ ○数字を見る限り、教職員は相当努力されていることがわかりました。 ○集団登校時、あいさつがよくできている班、特に今年は素晴らしい班長が複数名あります。6年生をほめてあげたいです。
	11	学校は、児童が時と場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	B	○86.7%が言葉遣いの指導をしていると回答。正しい日本語が身につくよう、職員が指導に努めている。	
	12	学校は、児童がお互いのよさを認め合うことができるよう指導している。	B	○87.7%がお互いのよさを認め合うことができていると回答。いじめについては今年度11件確認し、解消率100%に努めている最中である。	
	13	学校は、児童がマナーやルールを守って生活できるよう指導している。	B	○91.1%がマナーやルールを守って生活していると回答。学習規律も守って生活できている。	
健康・体力向上	14	学校は、児童の体力が高まるよう指導している。	B	○84.6%が体力が高まるよう指導していると回答。一方、本校の新体力テストの結果は県平均より下回るものが多かった。コロナ禍の中、運動の機会が減ってきている。校内研究では体育の授業研究に取り組んでいる。	○コロナ禍中で体力の維持が課題となるのはやむを得ないと思いますが、元氣な児童が多い感じはします。 ○地域ボランティアも高齢化が進み、登下校時の見守りも人数が減ってきています。保護者の方も忙しいと思いますが、みんなで見守りが出来ると良いなと感じました。 ○特に新入生の下校見守りは、交通安全教育が実践して行われており素晴らしい。 ○体育は今後、気候変化に即した対応が必要だと思います。(猛暑の中の授業、寒波時の体育着) ○校長、教頭の見守りお疲れ様です。
	15	学校は、児童が健康を意識した生活ができるよう指導している。	B	○88.0%が健康を意識した生活ができるよう指導していると回答。コロナ禍の中、衛生面についての意識は高い。	
	16	学校は、交通安全・防犯活動に積極的に取り組んでいる。	B	○88.2%が交通安全・防犯活動に積極的に取り組んでいると回答。今年度より、見守り防犯デジタル通信を産学連携で取り組み、約70家庭が利用している。	
地域連携	17	教職員は、保護者や地域との連携を図りながら教育活動に取り組んでいる。	B	○84.2%が連携を図っていると回答。開校50周年記念事業を通して、PTAや地域の卒業生との連携も密になった。	○開校50周年記念事業の連携ほうまくいったと感じています。今後は「POST開校50周年」として、新しい地域連携体制が課題かと史料いたします。 ○学校の情報を地域にも知らせてくださり、とてもありがたいのですが、先生方の仕事が他の所に流れただけで、負担が減っていないのではないかと心配しています。
	18	学校は、便りやデジタル配信で、教育活動を家庭に情報提供している。	A	○92.6%が情報提供していると回答。デジタル連絡ツール「スクリーン」を通して学校情報の発信してきた。学級閉鎖のクラスはタブレットを用いて朝の健康観察や授業の生配信を実施した。	